

(様式1)

学校番号 (小・中 101)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立 (伊目小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

持続可能な地域と共にある学校づくり

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

学校長の考え方、児童や地域に対する情熱が伝わり、納得できる方針であると思う。また、先生方との意見交換もあり、現在の伊目小のことがよく分かった。したがって、学校運営協議会委員は学校の運営方針を理解した上での熟議ができたものとする。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ ア よくできた イ できた ウ あまりできなかった エ できなかった
(理由)

児童数や保護者の人数が減少していく中で、どのように児童を育てる環境を地域・学校で作っていくかなど委員として意見を述べ合うことができ、充実した熟議を進めることができた。熟議が形式的にならないよう、例えば児童が話し合いに参加するなどして、さらに熟議が進むようにしていきたい。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ ア 充分に行った イ 行った ウ あまり行わなかった エ 行わなかった
(理由)

情報発信としてCSだよりや学校だよりの発行を通して、地域住民や保護者に内容は伝わったものとする。しかし、具体的に何を発信すべきか、また情報発信の仕方についてはまだ改善の余地があると思う。

<評価項目4> 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

引き続きの活動をすることが大切だと思われる。本校学区は少子化で児童の減少が進む中、現状を維持していくことは大変なことである。したがって来年度も「持続可能な地域と共にある学校づくり」を継続していくことで一致した。